

部 会 報 告

ISO/TC 127/WG 8 持続可能性 2015 年 11 月中国湖南省国際会議報告

標準部会 ISO/TC 127 土工機械委員会 永田 裕紀（コマツ）

2015 年 11 月に国際標準化機構 ISO の専門委員会 TC 127（土工機械）WG 8 国際作業グループ会議が中国湖南省長沙市で開催され、協会標準部会 ISO/TC 127 土工機械委員会から出席した永田氏の報告を紹介する。

- 1 開催日：2015 年 11 月 13～14 日
- 2 開催地：中国湖南省長沙市 XingSha Huatian Hotel
会議室
- 3 出席者：26 名
米国（ANSI）2 名，英国（BSI）1 名，スウェーデン（SIS）1 名，インド（BIS）1 名，中国（SAC）1 名，日本（JISC）1 名 他
- 4 会議概要：

2015 年 10 月に締め切られた CD 投票の結果、10987-2 リマン：賛成 15 ケ国，反対 1 ケ国，棄権 6 ケ国，10987-3 中古車：賛成 14 ケ国，反対 1 ケ国，棄権 7 ケ国でそれぞれ承認された。

5 審議内容：

5-1 開会：米国議長の挨拶，参加者の自己紹介を経て，10987-2 リマン，10987-3 中古車 CD 投票の際に提出された意見について，順次，審議を行うこととなった。

5-2 ISO 10987-2 リマンに対する議論：

3. Terms and definitions 本文で使用されていない用語を Annex に移動した。

3.2 remanufacturing ブラジル意見の「リマンは製造業者，その関係会社や公式に認証を受けた組織によって行われる」という文言の追加は Scope に織込むことで合意。

5. Requirements 米国意見の「疲労亀裂なきこと」の文言追加は既に「新品と同等またはそれ以上の品質」という記載があるので不要と判断され，「全ての安全面の改良がされていることを確認する」という文言は「“新品またはそれ以上”と互換性の有る設計改良を含んでも良い」という定義に変更して追加した。

6.1 Product marking 日本意見である「リマン品に製造者情報を残す」という要望は了承された。

スウェーデン提案の「specific mass（詳細質量）を盛り込むのは難しいので typical mass（代表質量）でも許容する」といった意見は却下され，単純にリマン製品の mass という文言だけの記載となった（文言変更無し）。

6.2 Additional labelling information 及び Annex A 単純にリマンした製品であることを示すラベルを規定してしまうと，ラベルが貼られた製品が一定水準にあることと受け取られるため，Annex 自体を削除するか，品質を規定することを日本の意見として提案したが，あくまでもサンプルであり，強制力を持つものではないと押し切られる形となった。

アメリカ意見「リマン品を示すシンボルは 60x60 で指定していたのを ISO 7000 に追加することで，本規格には寸法規定しない」ことで合意。

5-3 ISO 10987-3 中古車に対する議論：

1. Scope 「製造業者以外も中古車販売をしているため本規格が強制されるようになると流通の妨げになりうる」という米国意見があり，合意された（文言変更無し）。

4.2 General Requirement 米国意見で A 項 (Label & Symbol) に「現地規制に合致するラベルを含めても良い」という文言を追加する案は合意されなかった。

4.4 Safety Requirements 「E 項（ゴムタイヤ式機械）にタイヤの状態も追記する」という米国意見は，検査リストに追加することで合意。

Annex A エンジンラベルの変更防止のため，チェックリストにエンジン情報を記載するという意見は合意され，エンジンモデルとシリアルナンバー欄が追加された。

更に，チェックボックスを“OK”と“NOT OK”の 2 つとした。

6 今後のスケジュール：

- － 2015 年 12 月 DIS 原案作成（議長）
- － 2016 年 2 月 DIS コメント提出（各メンバ）
- － 2016 年 3 月 DIS 案文登録
- － 2016 年 9 月 DIS 投票締切・会議開催

7 所見：

昨今，リマン品や中古車などに対するユーザ様の関心は増大しており，これらの規格が整備されることは好ましいと感じる。反面，本規格が強制力を持つことでサードパーティが車を販売できないといった状況も考えられる。

こういった状況は流通の悪化に繋がり，メーカーとしては新車販売にも影響を及ぼしかねない。また，持続可能性の観点からも好ましくないため，注意深く動向を観察する必要があると感じる。

J C M A

